

令和 3年度予算見積調書

課室名: 道路環境課
 担当名: 交通安全施設整備担当
 内線: 5097 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B31	社会資本整備総合交付金 (交通安全) 事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	社会資本整備総合交付金 (交通安全) 事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	道路法 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律		宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	SDGsゴール	3, 9, 11
					分野施策	020411 交通安全対策の推進	SDGsターゲット	3-6, 9-1, 11-7
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>県管理道路において、歩道の新規設置や拡幅整備を行うことにより、歩行者の安全を確保し交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また交差点部付近において、交通事故の約6割が発生しており、慢性的な交通渋滞も発生している。右折帯設置などの交差点改良を行うことにより、交通渋滞の緩和と交通事故の軽減につなげる。</p> <p>(1) 歩道整備 1,106,000千円 (2) 交差点改良 423,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 歩道整備 : 歩道が無い所や狭い場所において、歩道の新規設置や拡幅整備を行う。 イ 交差点改良 : 交差点部において、右折帯又は右折避譲帯の整備を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 歩道整備 : 一般県道上野さいたま線 (上尾市) 外33箇所の整備を行う。 イ 交差点改良 : 一般県道騎西鴻巣線 (行田市) 外11箇所の整備を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 歩道整備 歩道の新規設置又は拡幅整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、交通事故の軽減につながる。 イ 交差点改良 交差点を改良することにより、交通渋滞が緩和され、排出ガスの低減にもつながる。 また、車両が安心して右折できるため交通事故の低減にも有効である。</p> <p>(4) その他 過去の実績 平成28年度: 1,789,000千円 平成29年度: 1,799,000千円 平成30年度: 1,976,000千円 令和元年度: 2,097,800千円 令和2年度: 2,015,200千円</p>					
2 事業主体及び負担区分								
○社会資本整備総合交付金 (国5.5/10・県4.5/10)								
3 地方財政措置の状況								
公共事業等債 充当率 90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2.6人=24,700千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	1,529,000	国庫支出金	830,500	県債	698,000		500	△486,200
前年額	2,015,200		1,097,910		916,000		1,290	